

半導体漫遊記

湯之上隆

(141)

背景には何があったのはしたがっているように見せかけて、お茶を濁したわけだ。

話は、DRAMでサムスン電子が台頭し始めた1990年代初期に遡る。サムスン電子は、二コン、TEL、スクリーンなど、日本の装置メーカーに、韓国国内で装置を製造する味を設立してしまっ

そのKIDNSは、2005年1月に社名を、SEMESに変わった。

大日本スクリーンホールディングス(以下スクリーン)は、半導体の洗浄装置の売上高で世界シェア1位の座にある。ところが、そのスクリーンが苦戦しているという。洗浄装置の企業別売上高シェアを見てみると、スクリーンのシェアは2009年にピークアウトしていることが分かった。

洗浄装置で世界シェア1位

大日本スクリーンが苦境

しかし、韓国メーカーは、心穏やかではない。韓国という、す

しかし、韓国メーカーは、心穏やかではない。韓国という、す

では、2009年以降、売上高シェアを増

では、2009年以降、売上高シェアを増

大しているのは、どこ

大しているのは、どこ

か。それは、TELと

か。それは、TELと

韓国のSEMESであ

韓国のSEMESであ

る。スクリーンとTE

る。スクリーンとTE

Lが切磋琢磨してト

Lが切磋琢磨してト

プシェア争いをしてい

プシェア争いをしてい

Sがシェアを増大した

Sがシェアを増大した

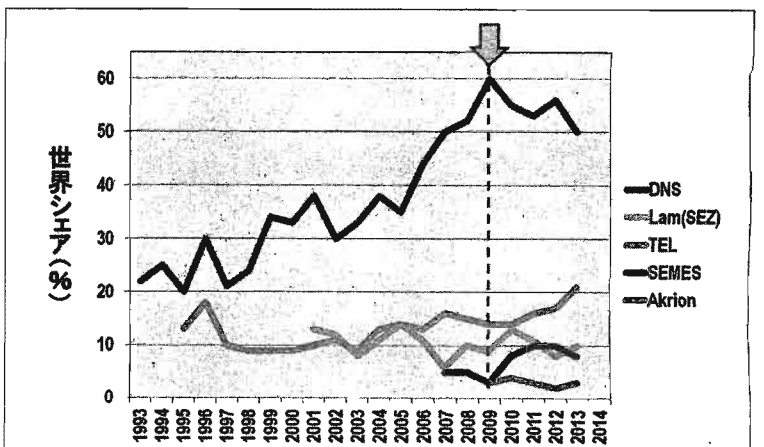


図1 洗浄装置の企業別の世界シェア

出所: 電子ジャーナル『半導体製造装置データブック』

がる光景が目に見え、早、後の祭り。サムスン電子の量産工場でSEMESに置き換えられてしまった洗浄装置が、二度とスクリーンに戻ることはない。

サムスン電子は、3次元NA NDに2・25兆円の投資を行うと発表した。この投資によって導入される洗浄装置はすべてSEMES製になるだろう。今

後、スクリーンが洗浄装置の世界シェア1位を死守できるかどうか、注視していきたい。(微細加工研究所・所長)